

油性フロアコーティング剤から

水性フロアコーティング剤への切替準備について

- 安定供給確保および環境・健康配慮への対応のお願い -

1. はじめに

平素より、当協会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本書面は、近年の中東情勢を背景とする油性フロアコーティング剤の供給不安、ならびに塗料業界全体で進行している水性化への移行という二つの動向を踏まえ、JHCA 会員各社における油性製品から水性製品への切替準備につきまして、重要な情報共有とご対応のお願いを申し上げます。会員企業の皆さまにおかれましては、本内容をご確認のうえ、自社の販売戦略および施工体制の見直しにご活用くださいますようお願い申し上げます。

2. 油性フロアコーティング剤の供給状況について

中東地域における地政学的リスクの高まりを受け、原油および石油化学製品の国際的な供給網が不安定化しております。油性フロアコーティング剤は石油由来の有機溶剤を主成分とするため、原料の調達価格・調達期間の双方に直接的な影響が及んでおります。

具体的には、以下のような状況が業界内で報告されております。

- ・ 主要メーカーからの納品リードタイムが従来の数倍に延びるケースが発生
- ・ 一部商品の出荷停止または出荷数量制限の通知が相次いでいる
- ・ 仕入価格の段階的な値上げが継続しており、今後さらに上昇する可能性が高い
- ・ 将来的に、注文を受けても施工提供できない事態が発生するおそれがある

この状況は短期間で解消する見込みが立たず、今後も不透明な状態が続くと予測されます。受注後に商品調達ができず、お客様や取引先企業へご迷惑をおかけする事態を未然に防ぐため、早期の代替製品検討と切替準備が極めて重要です。

3. 塗料業界における水性化の潮流

塗料業界全体では、近年、施工者の健康保護および環境負荷低減の観点から、油性塗料から水性塗料へ

の移行が加速度的に進んでおります。背景には、以下のような社会的要請と法規制の強化があります。

- ・ 有機溶剤中毒予防規則および特定化学物質障害予防規則による作業環境管理の厳格化
- ・ VOC（揮発性有機化合物）排出抑制への国際的な取り組み
- ・ シックハウス症候群対策および室内空気質基準への適合要求
- ・ カーボンニュートラル・SDGs の観点からの低環境負荷製品への需要拡大

国内外の主要塗料メーカーは、水性製品の研究開発に大きく経営資源を投入しており、今後は水性製品が業界の主流となる流れが確実視されています。フロアコーティング業界においても、この潮流から無関係ではられない状況です。

4. 水性フロアコーティング剤の性能進化

一昔前の水性フロアコーティング剤につきましては、ワックスよりは耐水性・耐久性が優れる程度の性能にとどまり、フロアコーティング商品としてお客様に自信をもって推奨することに疑問が残るものでした。

しかしながら、近年の技術革新により、JHCA 登録商品である「水性 UV フロアコーティング」および「水性ウレタンフロアコーティング」につきましては、耐久性・耐水性・耐薬品性のいずれにおいても、油性フロアコーティング剤と同等レベルの性能を発揮することが確認されております。

したがって、これらの水性製品は、シリコンフロアコーティングやガラスフロアコーティングの代替商品として、お客様および取引先企業様に対して十分に推奨できる商品となっております。

5. 主要性能の比較

【油性製品と水性製品（JHCA 登録商品）の性能比較】

評価項目	油性 UV/シリコン/ガラス	水性 UV フロアコーティング	水性ウレタンフロアコーティング
耐久性	◎	◎	◎
耐水性	◎	◎	◎
耐薬品性	◎	◎	◎
施工時の臭気	強い	少ない	少ない
VOC 排出量	多い	少ない	少ない
施工者の健康影響	配慮要	低リスク	低リスク

評価項目	油性 UV/シリコン/ガラス	水性 UV フロアコーティング	水性ウレタンフロアコーティング
供給安定性（現状）	不安定	比較的安定	比較的安定

※ 上記評価は JHCA 登録商品の試験データおよび実績に基づくものです。具体的な数値・規格につきましては各メーカーの技術資料をご参照ください。

【補足】仕上がり光沢度（美観）の調整について

水性 UV フロアコーティング（光沢度：高光沢）および水性ウレタンフロアコーティング（光沢）の仕上がり光沢度（美観）につきましては、光沢軽減剤を添加することで調整が可能です。ただし、添加率に対する光沢度の変化につきましては、床材の材質や色味によって結果が異なるため、現時点では確定した基準値の設定ができておりません。実際にご活用いただく際には、お手数ではございますが、各社にて実証試験を実施のうえ、適切な配合をご判断くださいますようお願い申し上げます。

6. 会員各社にお願いしたい対応事項

供給リスクへの備えと、業界全体の水性化への対応を円滑に進めるため、会員各社におかれましては、以下の対応を順次進めていただきますようお願い申し上げます。

(1) 現状把握

- ・ 自社が取り扱っている油性フロアコーティング剤の在庫数量および入荷予定の確認
- ・ 仕入先メーカーへの今後の供給見通しのヒアリング
- ・ 受注済み案件の施工スケジュールと必要数量の精査

(2) 水性製品への移行準備

- ・ 水性 UV フロアコーティング・水性ウレタンフロアコーティングの取扱い検討
- ・ 施工マニュアル・作業手順書の整備および施工スタッフへの技術研修
- ・ 試験施工による自社品質基準の確立

(3) 営業・販促資料の見直し

- ・ 既存の営業ツール・パンフレット・Web サイトにおける推奨製品の見直し
- ・ 水性製品の特長（健康配慮・環境配慮・性能）を前面に出した訴求への転換
- ・ お客様および取引先企業への切替案内文書の準備

(4) 顧客・取引先への説明準備

- ・ 既契約・継続取引先への状況説明と代替商品提案
- ・ 新規見積もり時における水性製品の積極的な提案

- ・ 性能・保証内容に関するご質問への回答準備

7. JHCA によるサポート体制

当協会では、会員各社の円滑な水性製品への移行を支援するため、以下の取り組みを進めてまいります。

- ・ 水性フロアコーティング剤に関する技術情報・最新動向の継続的な共有
- ・ 施工技術研修会・勉強会の開催
- ・ 販促資料・営業トーク事例の提供
- ・ 会員企業間における情報交換の場の設定
- ・ メーカーとの連携による供給情報の集約と発信

ご不明な点、ご相談がございましたら、JHCA 事務局までお気軽にお問い合わせください。会員企業の皆さまと連携し、業界全体としてこの転換期を乗り越えてまいりたく存じます。

8. 結びに

油性製品の供給不安は、業界にとって看過できないリスクである一方、これを契機として水性製品への移行を進めることは、施工者の健康保護、環境への配慮、そして将来にわたる安定的な事業運営という観点から、極めて重要な経営判断となります。

JHCA 登録の水性フロアコーティング商品は、性能面において油性製品と遜色のないレベルに到達しております。会員各社におかれましては、本書面の内容を踏まえ、早期の準備着手にご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

一般社団法人日本ハウスコーティング協会

品質・技術管理：株式会社 T-style 田中 忍

Web：https://j-hca.com/

以上